

和田小コミスクだより

3年生 めいけん学習「和田の町 すてき発見！」 ～ 地域の方から お話をうかがいました～

6月9日（月）、6月11日（水）の2日間にわたり、地域の方をお招きして3年生が地域の歴史や地名についてのお話をうかがいました。昔の和田の町の地図と今の和田の町の地図を比べて和田の町の変化を確認したり、昔の生活の様子を想像したりして、発見いっぱいの2時間となりました。今後は、お話をうかがったことをさらに深めるために、探検に出掛けます。

実際に見たり聞いたりする活動をたくさん行い、和田の町の「すてき！」を見つけていきたいと思います。



【和田町】 鈴木 幸子さん

浜松アリーナは、平成2年にできました。アリーナを建設する前は、同じ場所に青果市場がありました。建設しているときには、土の中から土器が発見されたこともありました。サークスが来たこともあったんですよ。また、町には、田畠が広がっていました。池があり、ホタルを見ることもできました。

昭和34年に152号線が開通したころから、道のまわりに自動車屋さんができきました。それが、今、自動車街として知られています。



【薬師町】 斎藤 拓雄さん

薬師町の名前は、薬師如来からきています。薬師如来は、今から800年くらい前に、人々の健康や安全をいのってまつられました。今は、薬師町の安正寺にまつられています。薬師如来は、60年に一度しかみることができないのですよ。

和田小学校の南側には、東海道の松並木があります。昔の旅人は、この松並木の下で休憩をしました。今、薬師町には20本の松が残っています。



お忙しい中御協力いただき、ありがとうございました。

【篠ヶ瀬町】 山本 秀樹さん

篠ヶ瀬町は現在2062件、4375人が住んでいます。75年前は、約80件、400人ぐらいでした。土地改良が進み、まっすぐで広い道ができたり、市街化区域になったりしたことから多くの人が生活するようになりました。

1704年には、増福寺の横に隕石が落ちました。日本で見つかった2番目に古い隕石です。隕石は、村人が掘り出して、大切にされていました。記録も残っていますよ。今は、科学館に展示されています。見に行くことができるといいですね。

【北島町】 大橋 正紀さん

北島町の名前は、安間村の北側にある島のように見える場所だということからきています。

昔、安間川は「し」のような形をした流れだったので、堤防が決壊することがよくありました。そして、北島町は、安間川に囲まれているので、水害も多かったです。昭和19年に少年兵が手作業で今の安間川の形に整備してくれたそうですよ。今日聞いたことを、おうちでも話してくださいね。

